エンバク

ヒットマン

特性

●サツマイモネコブセンチュウ密度抑制効果を有する晩生エンバクです。

●9月播き年内すき込み、10～11月播き翌春すき込み、3～4月播き初夏すき込み可能です。

●9月播きした場合は年内に出穂しないので、種が落ちる心配が無く、緑肥として使いやすいです。

他品種との根張り比較

ヒットマンの方が根量多く、より広範囲に根を伸ばすため、センチュウ抑制効果もより高いことが期待される。

根張り比較

ヒットマン　他品種C

カネコ種苗株式会社

エンバク ヒットマン

利用方法

●播種期

	播種時期	すき込み期	注意点
夏播き	9月上旬～中旬	11～12月	播き遅れるとセンチュウ密度低減効果を得られない可能性があるので、9月中旬までに播くようにする。
春播き	3～5月	5～7月	あまり早くすき込むとセンチュウ密度低減効果を得られない可能性があるので、5月末までは生育させるようにする。
秋播き	10月中旬～11月上旬	4～5月	冷涼地及び東北以北では越冬不可能。関東以西でも冬枯れする可能性があるので、播き遅れないようにする。早めにすき込んだ場合はセンチュウ密度低減効果を期待できない。

●播種量

10～15kg／10a

※ブロードキャスター等で播種後は、覆土、鎮圧を行ってください。

※線虫被害の常発畑では、密度抑制効果を高めるために15kg/10aとします。

試作結果/伊勢崎市内圃場（春播き初夏すき込み）

	草丈	生草収量	乾物収量	乾物率	ネコブセンチュウ頭数 土壌100gあたり	
	cm	kg/a	kg/a	%	播種時	すき込み前
ヒットマン	146	668	120	18.0	981	2
他品種C	108	354	104	29.6	194	8

試験結果 .1

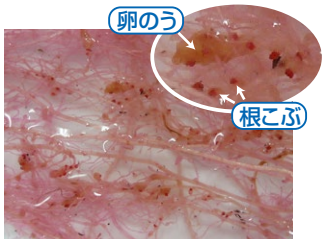
サツマイモネコブセンチュウ卵のう形成程度の品種間差

0→4（無し）（甚大）

	早晩性	種類	卵のう形成程度
ヒットマン	晩生	エンバク	0
他品種 A（強対照）	極早生	エンバク	1
他品種 B（弱対照）	極早生	エンバク	4

9月12日：センチュウ汚染土壌にエンバク播種
12月4日：エンバク根の卵のう着生程度調査

ヒットマンの根
根こぶ・卵のう共に無し



他品種B
根こぶ・卵のう多数

卵のう形成が多いほど次世代の幼虫が多くなり、作物の被害が多くなる一方、「ヒットマン」のような卵のう形成が極めて少ない品種の場合はセンチュウ数が減少していく。

試験結果 .2

くにさだ育種農場センチュウ汚染圃場での検定

0→4（無し）（甚大）

	エンバクのサツマイモネコブセンチュウに対する反応		翌年作付けしたカンショ被害
	根こぶ程度	卵のう着生	被害指数
ヒットマン	0	0	33
他品種A(強対照)	0	1	63
他品種B(弱対照)	3	4	95

2014年9月12日：エンバク播種（12月すき込み）
2015年7月8日：カンショ定植　2015年11月12日：カンショ掘取
※被害指数（被害程度の平均）/ 4×100

ヒットマンの後作作付後

他品種Bの後作作付後

お問い合わせは
カネコ種苗株式会社
本社 緑飼部/群馬県前橋市古市町1-50-12
〒371-8503 TEL 027(253)0561(代) FAX 027(290)1045

2021年3月 作成